



2015年3月期 第2四半期決算説明会

富士機械製造株式会社

Nov. 2014

※本資料における業績予想、見通し、計画等は、現時点における事業環境での入手可能な情報に基づき、当社の経営者が合理的と判断したもので、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は様々な要因の変化により大きく異なることがありますことをご承知おきください。

■ 業績説明

■ 事業方針



連結業績

第2四半期連結業績実績

(単位:百万円)	13.4-13.9 実績	13.4-14.3 実績	14.4-14.9 予想 (8月7日)	14.4-14.9 実績	対前年 同期 増減	予想 増減 (8月7日比)
売上高	36,568	65,565	43,000	43,188	+6,619 18.1%	+188 0.4%
営業利益	2,975	3,028	5,500	5,711	+2,736 92.0%	+211 3.9%
営業利益率	8.1%	4.6%	12.8%	13.2%	+5.1pt	+0.4pt
経常利益	3,363	3,786	5,600	6,025	+2,662 79.2%	+425 7.6%
当期純利益	2,348	2,592	3,900	4,284	+1,936 82.5%	+384 9.9%
一株当たり 当期純利益	円 24.02	円 26.52	円 39.89	円 43.83		
一株当たり 配当金	円 10.00	円 16.00	円 8.00	円 8.00		

連結業績

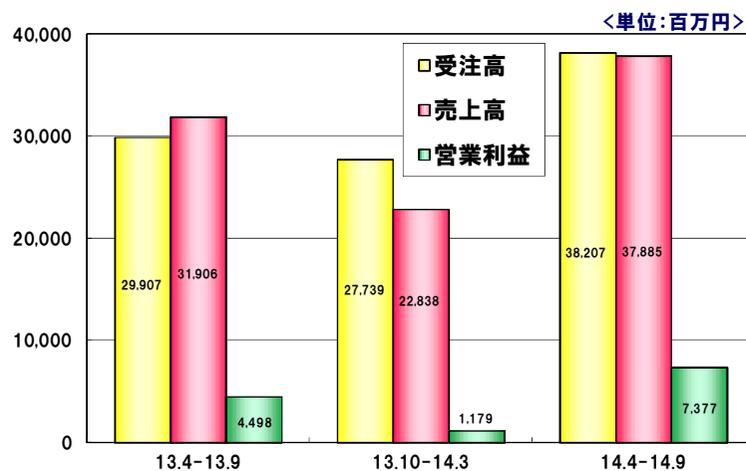
営業利益増減分析



連結業績

電子部品組立機事業

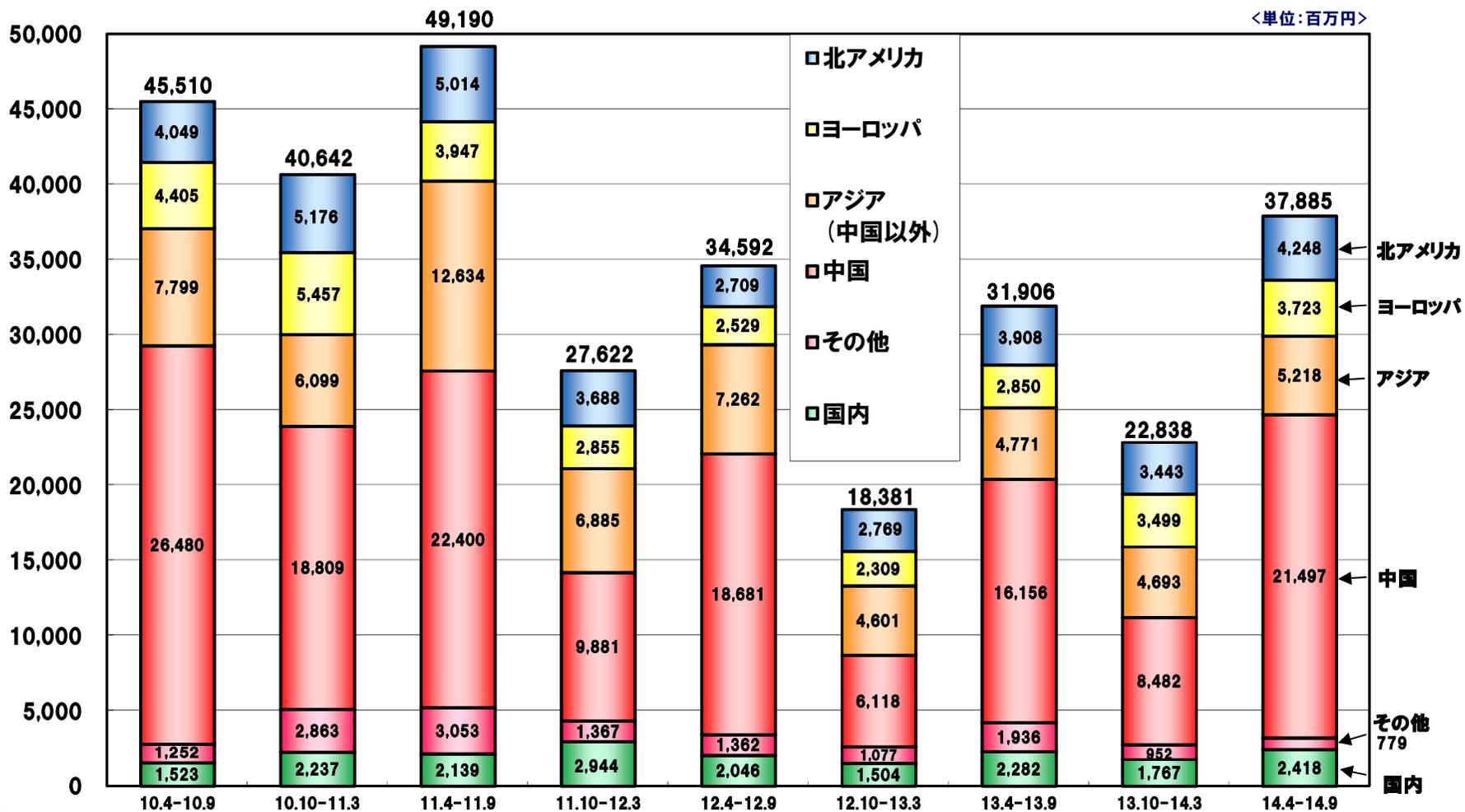
(単位:百万円)	13.4-13.9 実績	13.4-14.3 実績	14.4-14.9 予想 (8月7日)	14.4-14.9 実績	対前年 同期 増減	予想 増減 (8月7日比)
受注高	29,907	57,646	37,000	38,207	+8,299 27.8%	+1,207 3.3%
売上高	31,906	54,744	38,000	37,885	+5,979 18.7%	△114 △0.3%
営業利益	4,498	5,677	—	7,377	+2,879 64.0%	—
営業利益率	14.1%	10.4%	—	19.5%	+5.4pt	—



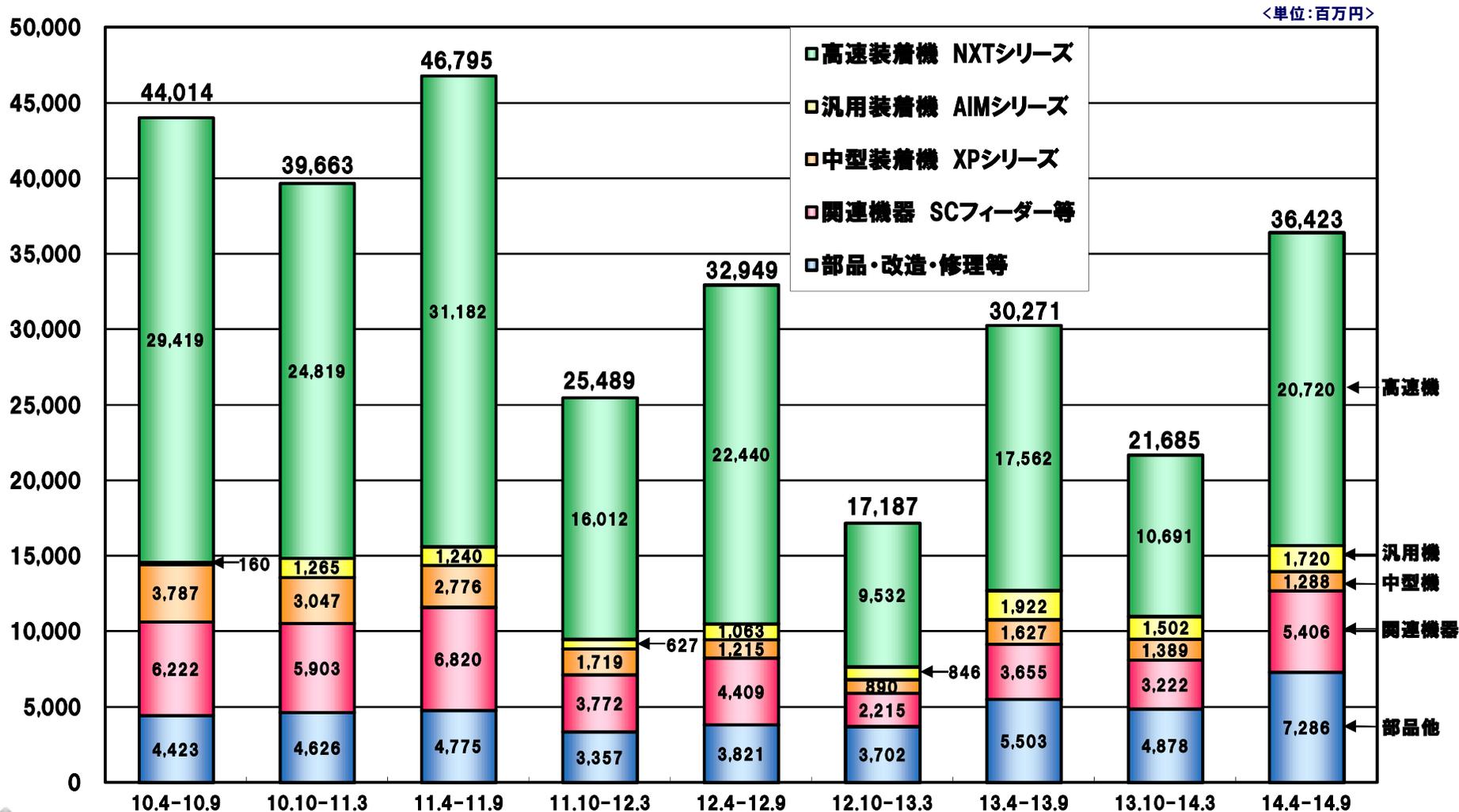
NXT III
Fuji Scalable Placement Platform

連結業績

電子部品組立機事業 地域別売上高



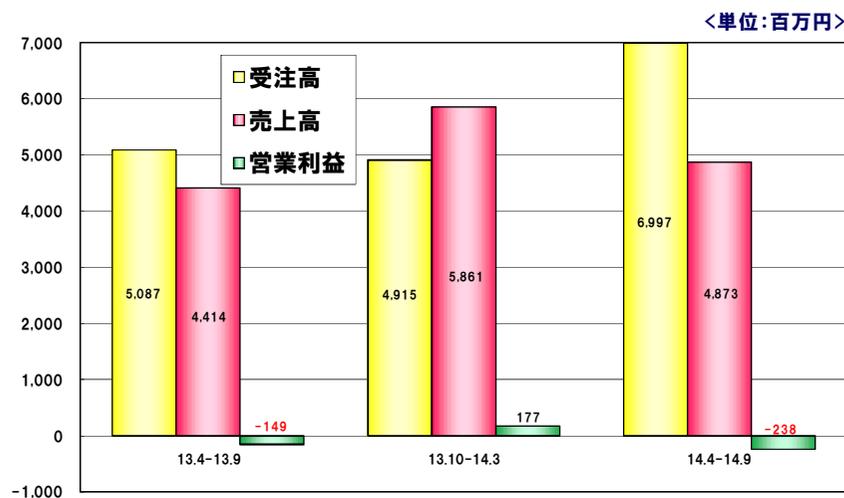
単体業績

電子部品組立機事業
機種別売上高

連結業績

工作機械事業

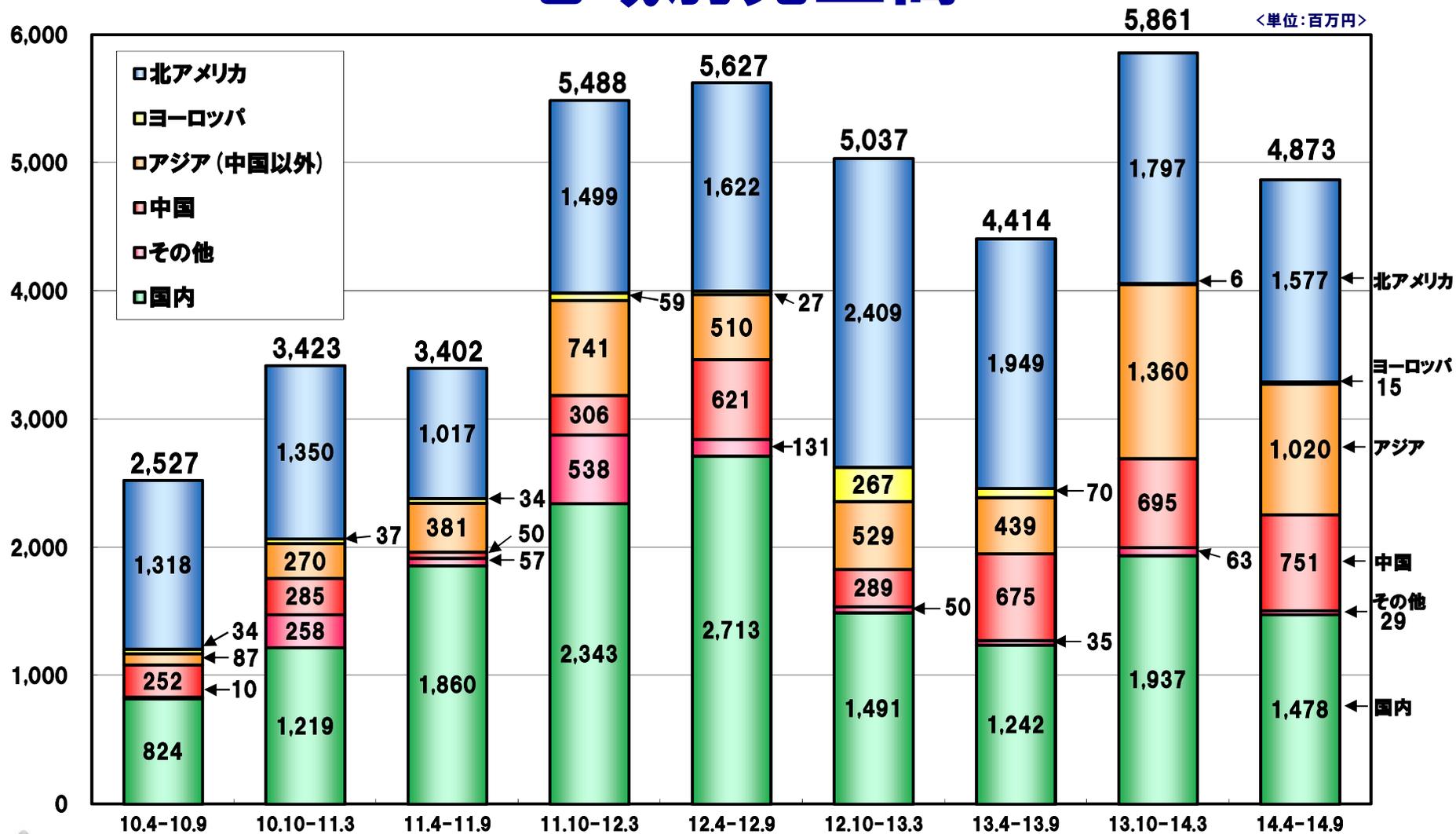
(単位:百万円)	13.4-13.9 実績	13.4-14.3 実績	14.4-14.9 予想 (8月7日)	14.4-14.9 実績	対前年 同期 増減	予想 増減 (8月7日比)
受注高	5,087	10,002	6,000	6,997	+1,910 37.6%	+997 16.6%
売上高	4,414	10,275	4,500	4,873	+458 10.4%	+373 8.3%
営業利益	△149	27	—	△238	△88 —	—
営業利益率	△3.4%	0.3%	—	△4.9%	△1.5pt	—



TN300

連結業績

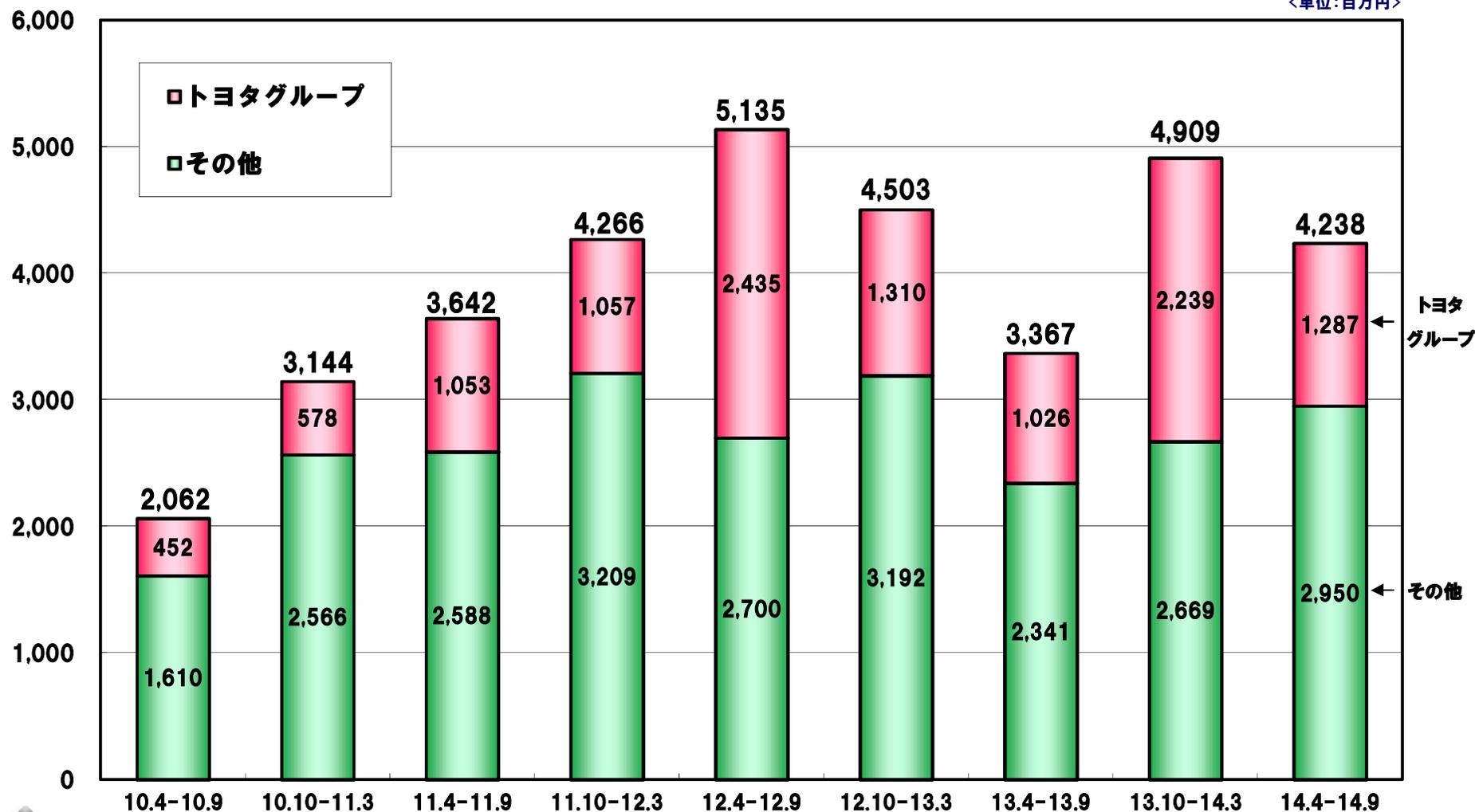
工作機械事業 地域別売上高



単体業績

工作機械事業 主要ユーザー別売上高

<単位:百万円>



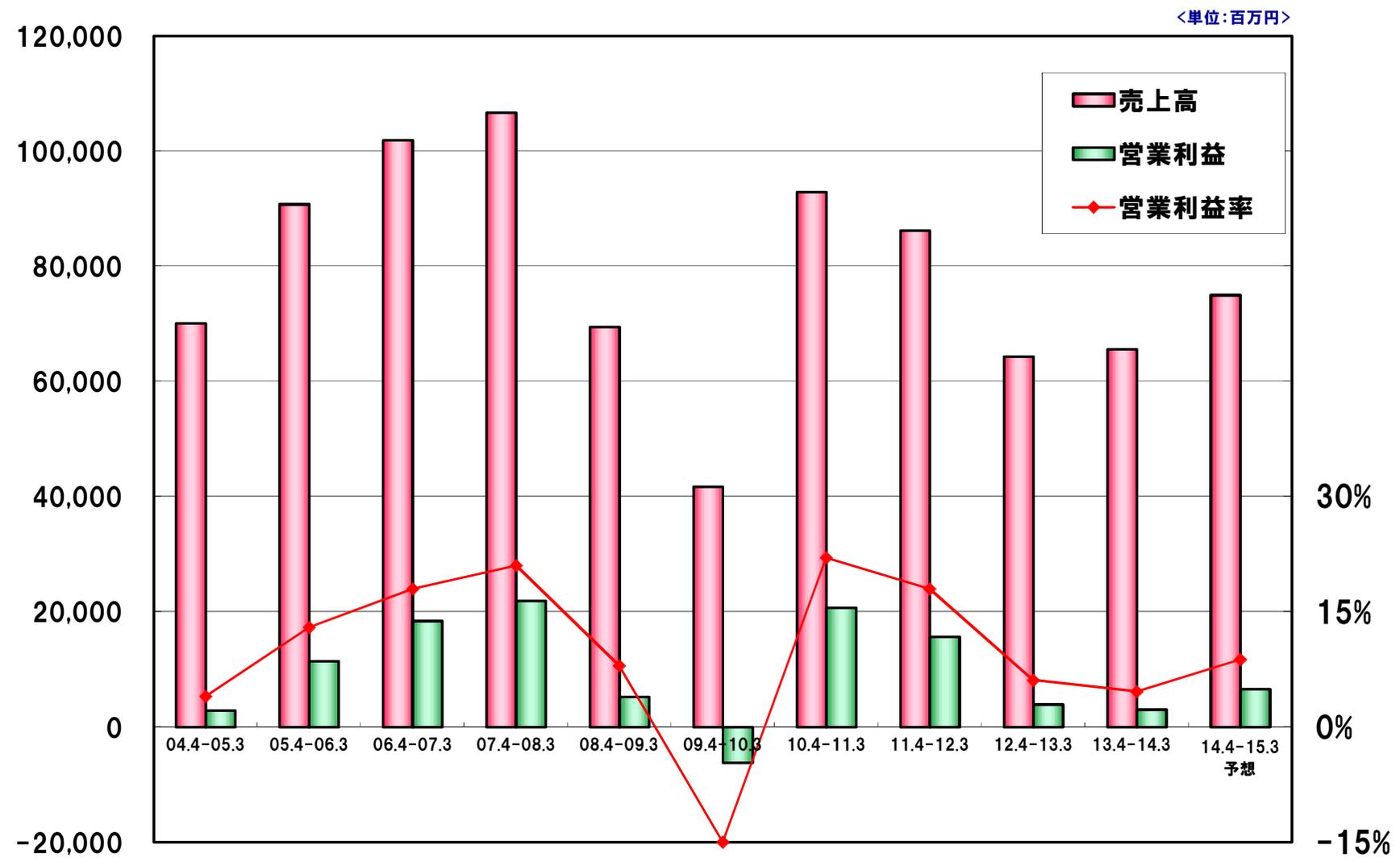
業績予想

連結業績予想

(単位:百万円)	13.4-14.3 実績	14.4-15.3 修正予想 (8月7日)	14.4-15.3 修正予想 (11月6日)	対前期 増減
売上高	65,565	75,000	75,000	+9,434 14.4%
営業利益	3,028	6,600	6,600	+3,571 118.0%
営業利益率	4.6%	8.8%	8.8%	+4.2pt
経常利益	3,786	6,800	7,100	+3,313 87.5%
当期純利益	2,592	4,700	5,100	+2,507 96.7%
一株当たり 当期純利益	円 26.52	円 48.08	円 52.17	
一株当たり 配当金	円 16.00	円 16.00	円 16.00	

業績予想

連結売上高・営業利益推移



業績予想

連結セグメント

受注高

売上高

受注残高

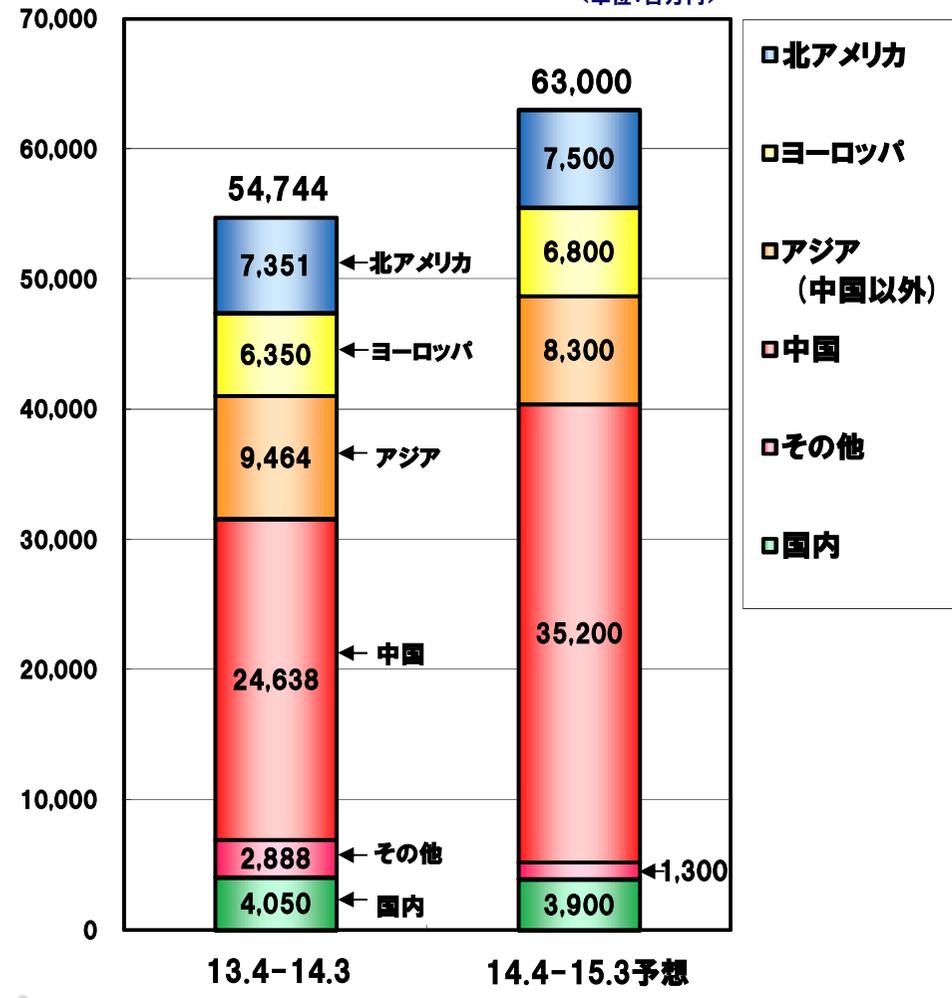
(単位:百万円)	受注高			売上高			受注残高		
	13.4-14.3 実績	14.4-15.3 予想 (11月6日)	対前期 増減	13.4-14.3 実績	14.4-15.3 予想 (11月6日)	対前期 増減	14.3 実績	15.3 予想 (11月6日)	対前期 増減
電子部品組立機	57,646	66,000	+8,353 14.5%	54,744	63,000	+8,255 15.1%	9,645	12,645	+3,000 31.1%
工作機械	10,002	13,000	+2,997 30.0%	10,275	11,000	+724 7.0%	3,812	5,812	+2,000 52.5%
その他	619	1,000	+380 61.4%	545	1,000	+454 83.4%	129	129	— 0.0%
合計	68,269	80,000	+11,730 17.2%	65,565	75,000	+9,434 14.4%	13,587	18,587	+5,000 36.8%

業績予想

電子部品組立機事業

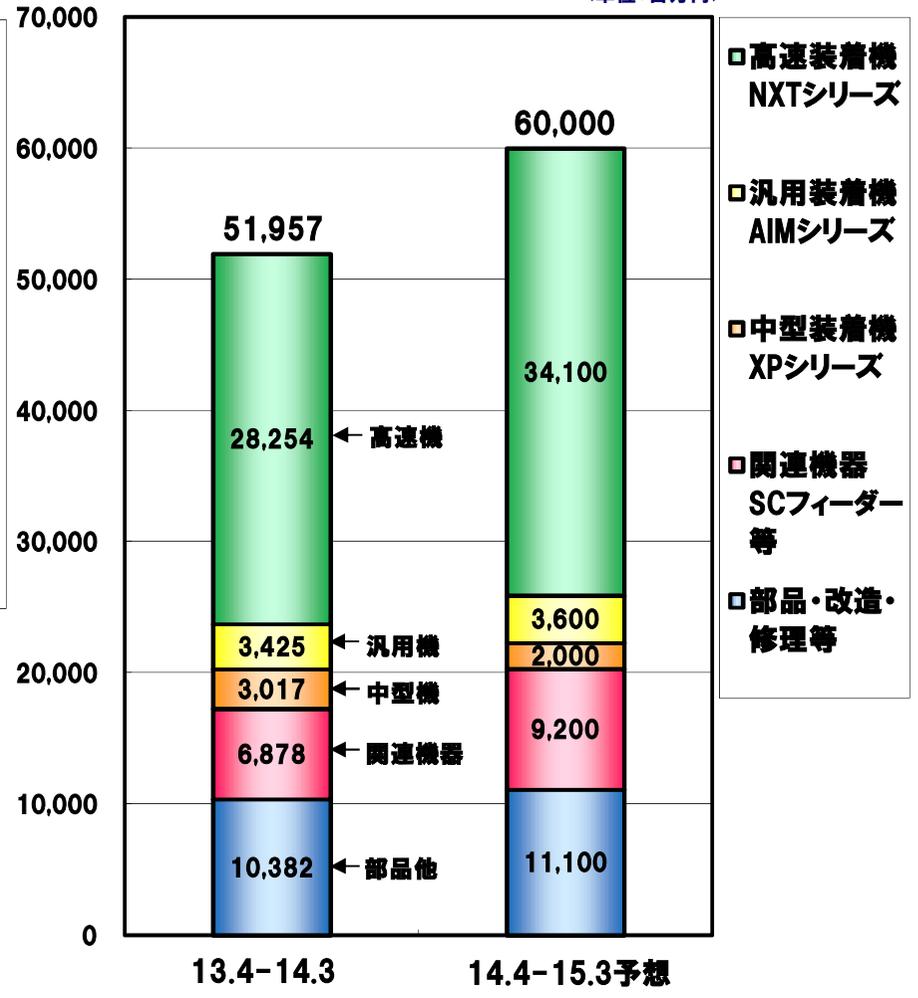
地域別売上高(連結)

<単位:百万円>



機種別売上高(単体)

<単位:百万円>

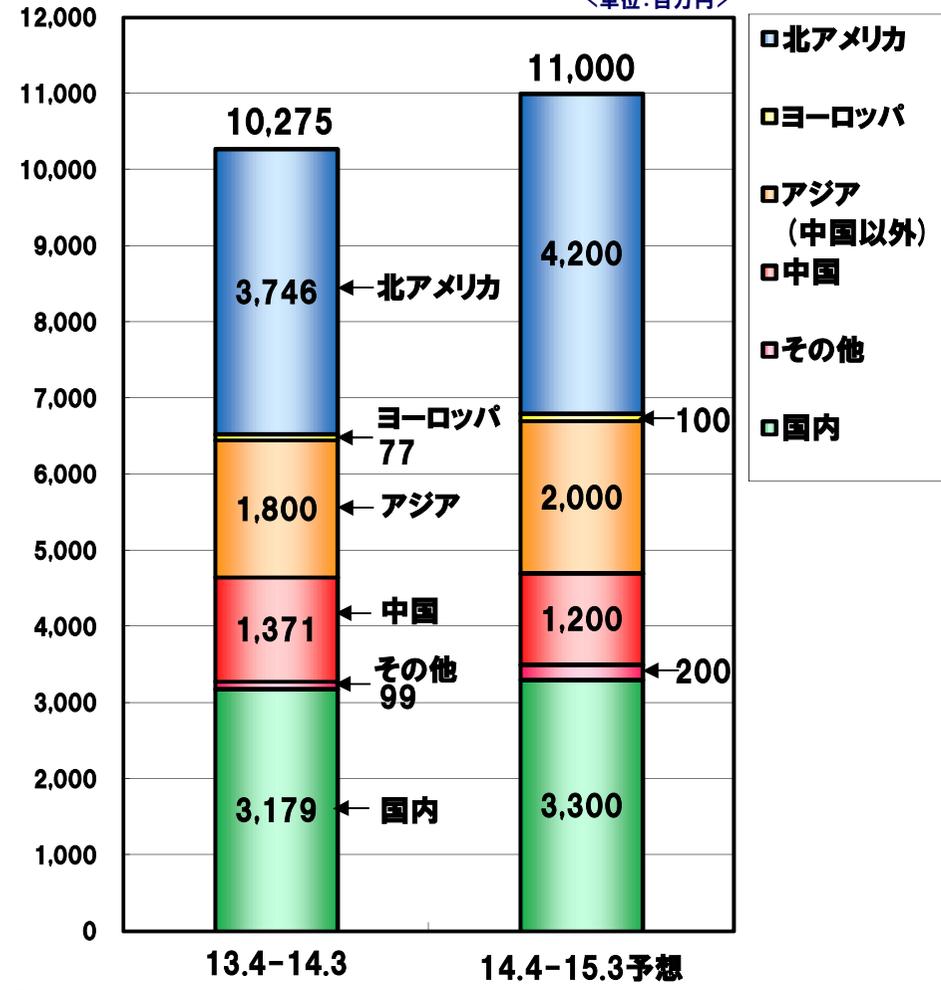


業績予想

工作機械事業

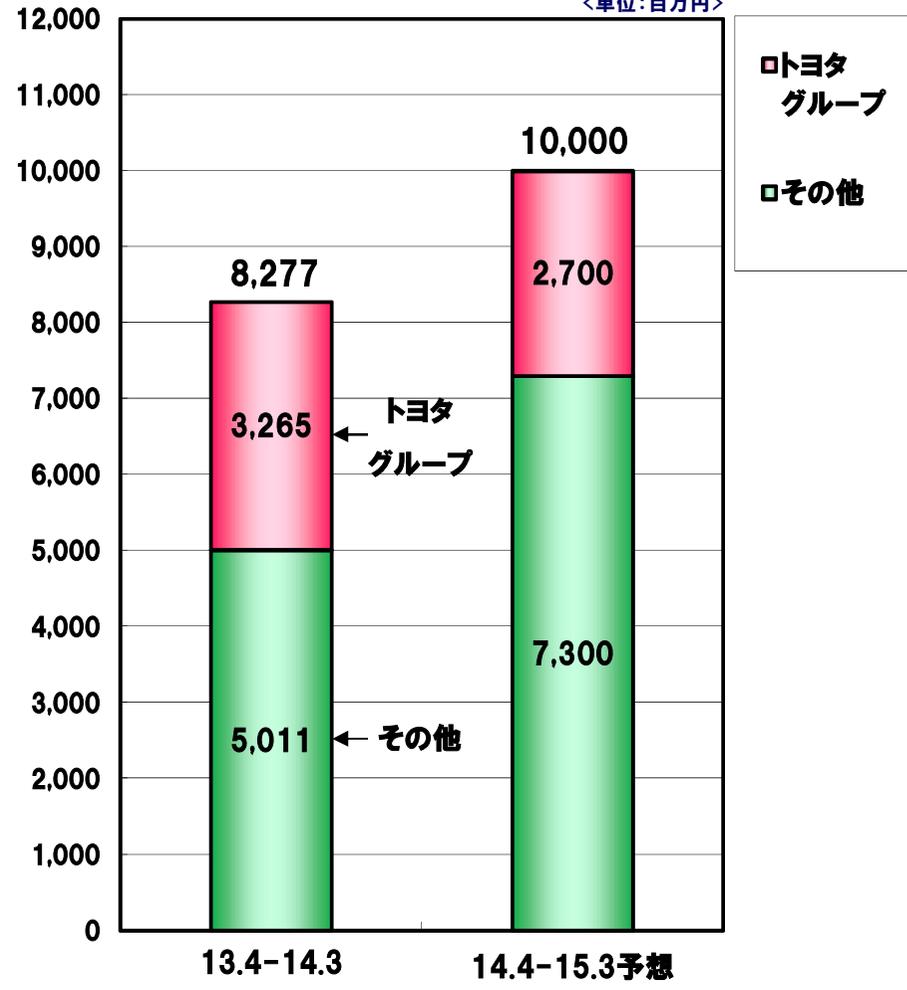
地域別売上高(連結)

<単位:百万円>



主要ユーザー別売上高(単体)

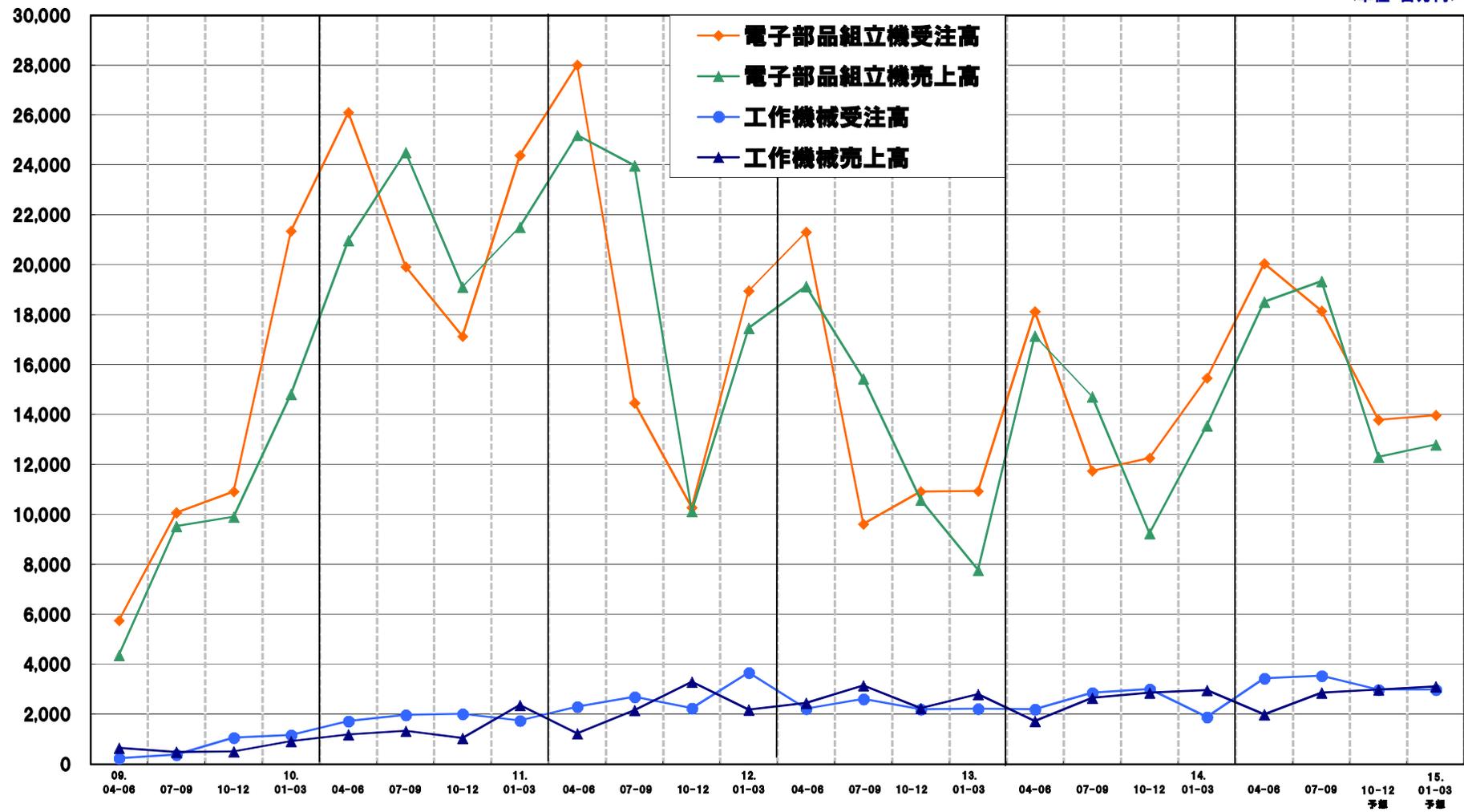
<単位:百万円>



業績予想

四半期別連結受注高・売上高

<単位:百万円>



■ 業績説明

■ 事業方針



経営基本方針

電子部品組立機事業

真のNo.1ブランドの確立

- ・次世代製品開発、製品競争力強化
- ・トータルソリューションの提供
- ・高い顧客満足度を創出する営業活動
- ・生産革新の実現

工作機械事業

利益体質の構築

- ・タイムリーな製品開発と市場投入
- ・中国生産と現地調達率の向上
- ・国内・海外販売網の強化
- ・既存製品の価格競争力向上

スピード経営の推進

～早く知り、早く手を打つ～

Simple, Slim, Speed

新規事業

イノベーションの創出

- ・市場ニーズを先取りした商品化、事業化
- ・社会に貢献する技術開発、事業化
- ・特許戦略の強化

全社

ワークスタイルの変革

- ・組織の活性化・スリム化、労働生産性の大幅向上
- ・グローバル化の推進
- ・連結経営の強化
- ・コンプライアンスの徹底

電子部品組立機事業

事業部方針

『Market Leader30』～真のNo.1ブランドの確立～

事業環境

■マクロ経済

- ▶日本:消費税増税の影響などにより弱含みで推移
- ▶世界:アメリカは緩やかな拡大基調。欧州は足踏み傾向。
中国景気弱含み、輸出減速、とはいえ7%台成長率維持。

■マウンター需要は、ほぼ横ばい

- ▶市場規模:2013年度 約2,000億円(上期1,100億円、下期900億円)
2014年度 約2,300億円(上期1,400億円、下期900億円)見込
- ▶展 望 :マウンター需要はアジアを中心に底堅く推移
通信端末中国ローカルブランドの成長、グローバル化
自動車部品の電子化進展
(燃費軽減、安全対策、インフォマティクス)

電子部品組立機事業

事業戦略

真のマーケットリーダーとしての地位確立

営業

- ➡ 車載市場開拓、新規ユーザーの獲得、マーケットシェアの向上
- ➡ 中国・東南アジアの販売網拡充、代理店の育成
- ➡ セールスツールの徹底見直し
- ➡ 営業・開発・生産 三位一体の活動による顧客満足度向上

開発

- ➡ 高付加価値実装、自動化・省人化対応
- ➡ トータルソリューションの提供 - SMT後工程への取り組み
- ➡ 徹底したVA、コストダウン設計

生産

- ➡ 競合を圧倒する品質の提供、生産改革、短納期対応
- ➡ サプライチェーンの強化によるQCDの徹底

工作機械事業

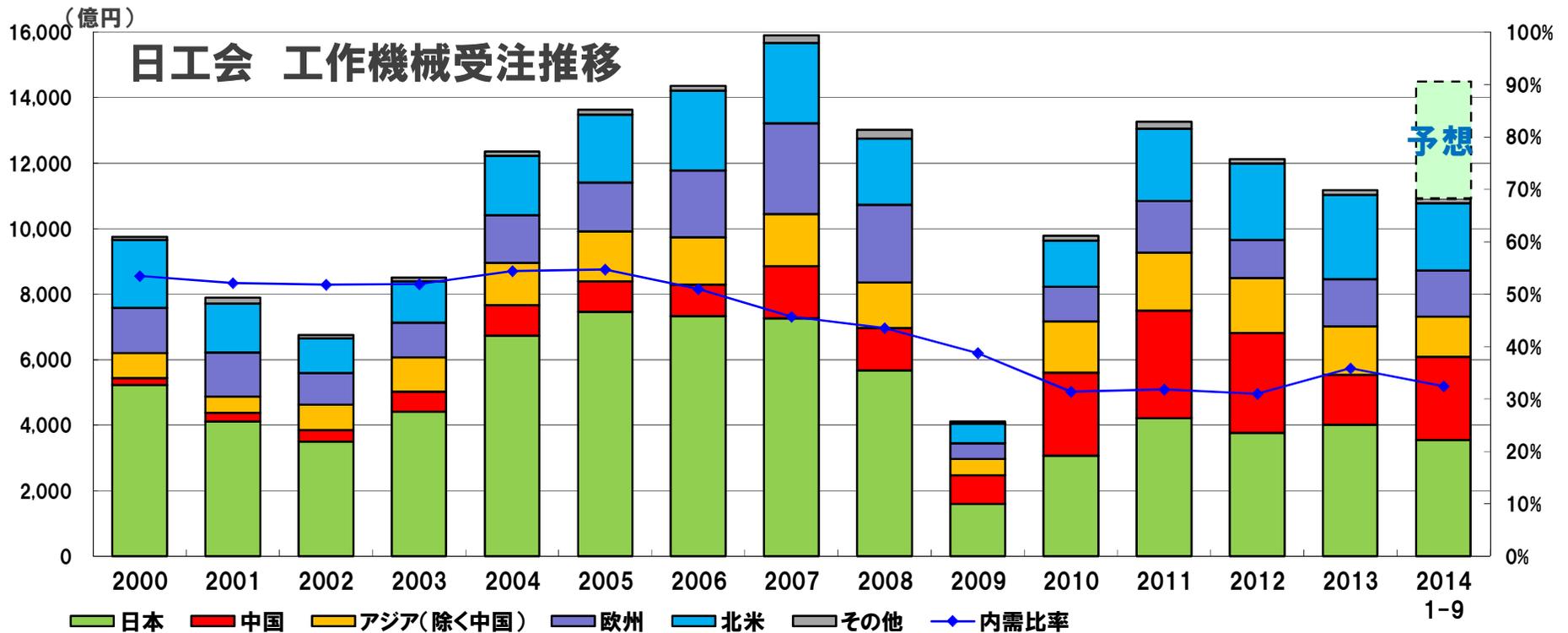
『利益体質の構築』

事業部方針

事業環境

■ 内需が堅調な伸び、外需も高水準続く

- ▶ 日工会の2014年受注目標 は1兆3,000億円から1兆4,500億円へ上方修正
2014年9月時点で1兆円を突破し、受注目標達成は確実視
- ▶ 2014年9月の国内受注はリーマン・ショック後の過去最高額を更新
緩やかな回復により更新需要見込まれる



工作機械事業

事業戦略

安定した利益体質への改革・維持

営業

- ◆ 国内外の販売網の強化 - 新規ユーザーの取り込み
グローバル販売の強化
- ◆ サービス体制の充実 - グローバルサービスサポート体制の確立
(中国、タイ、インドネシア)

開発

- ◆ DLFn新モジュール開発と商品化の加速
- ◆ 徹底したVA、コストダウン設計

生産

- ◆ 高い品質の提供、生産改革、短納期対応
- ◆ コア部品 / 新加工技術への挑戦と内製化
- ◆ 高レベル技術者・技能者の育成
- ◆ 海外における品質管理体制強化

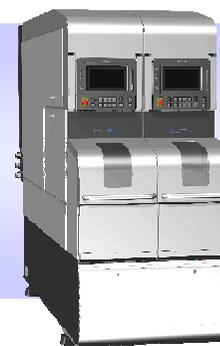
事業展開

■既存事業のさらなる拡充

- ◆ 電子部品実装ロボット
- ◆ 工作機械
- ◆ 組立ロボット



モジュール型多機能装着機
「NXT III」



モジュール型生産設備
「DLFn」



モジュール型自動組立機
「SmartFAB」

■既存技術を応用した新分野への事業展開

- ◆ プラズマ処理装置
- ◆ サポートロボット
- ◆ パブリックストッカシステム



超高密度大気圧プラズマユニット
「Tough Plasma」



サポートロボット
(開発中)



パブリックストッカシステム
(実証実験中)

■M & A等による事業展開

- ◆ シナジー効果の得られるビジネス
- ◆ 新しい領域、異次元の事業領域へのチャレンジ

FUJIの未来づくり





FUJI
innovative spirit

